

JR常磐線佐貫駅駅名改称事業について

市民の皆さんと市長との懇談会

駅名改称の背景と目的

人口減少社会の到来

- 本市の人口は2010年をピークに減少（国勢調査）
- 今後も減少見込み（龍ヶ崎市人口ビジョン）
- 「選ばれる自治体」を目指した施策展開が加速
- 定住促進や人口流出抑制に向けた取組がより重要に

定住促進に向けた取組

- 地方創生、定住人口確保等を目標とした取組を推進
- 市の玄関口である佐貫駅周辺地域の活性化、道の駅整備、通えるまち、子育て環境充実、安全安心 等

施策推進上の課題

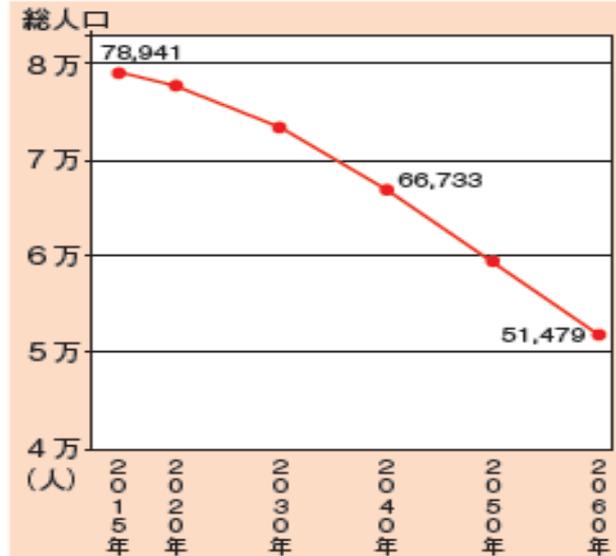
- 本市の認知度が低い。認知度が低い状態のままではイメージアップ策を展開してもその効果は限定的

市民の皆さんの期待

- 市民の皆さん、企業、大学等からの要望や期待
- 「駅」を通じた情報発信の強化、PR活動の円滑化

定住促進に向けて、まずは、
「知ってもらう」「関心を持ってもらう」ことが必要
⇒ **駅名改称は、本市の存在と位置関係を
知ってもらう、発信する重要な手段の一つ**

総人口の推移（市独自推計）



出典：龍ヶ崎市人口ビジョン

シティプロモーション活動の5つのステップ

STEP 1 知る

STEP 2 関心を持つ

STEP 3 来る(行く)

STEP 4 選ぶ

STEP 5 住む

知ってもらうことが、住んでもらうことの第1歩。より多くの知る機会を創出

経緯・経過

当初の目標

- 駅名改称に関する費用削減効果が見込める時期を模索
- 消費税率改定時期である平成29年4月を改称時期とすることで、費用削減効果を見込むことができること、そのための手続き等が判明
- 市民の皆さんへの周知、説明（意見交換会開催、政策情報誌など）
- 平成27年6月の市議会定例会に予算案上程、可決
- 新駅名候補に関する要望書をJRに発出。「龍ヶ崎市駅」にすることで合意
- 平成27年9月にJRと協定締結。平成29年4月の消費税率改定時を駅名改称の目標

改称時期の延期

- 平成28年6月1日に消費税率改定の先送り表明
- 消費税率改定の先送りにより、前提条件が大きく変化。費用削減効果が得られなくなった状況を勘案し、駅名改称時期を先送りせざるを得ないと判断

JRとの協議継続

- 駅名改称の実現に向けて、改称時期、タイミング、概算費用等について協議を継続

今後の方針とスケジュール

JRとの協議の状況

- 平成30年2月、今後の改称時期の想定や概算費用などの具体的な協議を再開
- その中で、実施の確実性が高く、かつ、大きな費用削減効果を見込むことができる「2020年春の大規模施設機器更新」のタイミングでの改称を前提とした検討をJRに依頼。新駅名については当初合意した「龍ヶ崎市駅」の継承を前提
- 概算費用（協議段階）：約3億8900万円
※当初（平成29年4月消費税率改定時）は約3億2900万円

- ☞費用増額の主な要因は、当初と比較して、・・・・
- ・当初（H29.4）はダイヤ改正と同時期に改称することで割り勘効果を見込んでいたが、今回はダイヤ改正が同時期になるか不明確なため現時点では見込んでいない
 - ・改修が必要な新たなシステムの追加

今後の方針

実施の確実性が高く、かつ、費用削減効果が最大となる

⇒ 2020年春の「大規模施設機器更新」のタイミングでの改称実現を目標

今後のスケジュール

2018(H30)年 5月19・20日	市民懇談会開催(4か所)	2018(H30)年6～7月	JRと協定書締結、作業着手(JR)
平成30年第2回 市議会定例会	補正予算計上(債務負担行為 及び30年度負担額)※予定		市民の皆さんへの周知、プレイベント等
		2020年春	駅名改称